

女性が輝くリーダー養成セミナー(第1回)実施報告

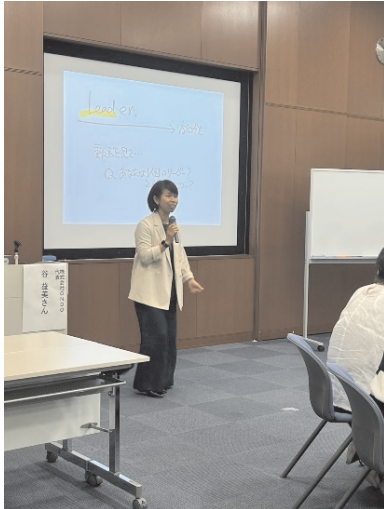
日 時：7月19日(金)13:30~16:30

場 所：サンポートホール高松 54 会議室

参加者：27 名(29 名中 2 名欠席)

【テーマ】リーダーシップとマネジメント「チームの持続可能性を高めよう」

【講 師】谷 益美さん(株式会社 ONDO 代表/コーチ・ファシリテーター)



本セミナーは全6回の連続講座であり、その1回目のセミナーを開催した。まず、地域活動や組織・グループのリーダーになった、もしくはこれからリーダーを目指す女性、自分自身のスキルアップを図りたい女性29名を7チーム(A~G)に分け、チーム別でテーブルに座って頂いた。

第1回目のセミナーであったが、席に向かうとチーム内ではこやかに挨拶を交わし、名刺交換をする姿が多く見られました。講師の谷さんや弊法人の中橋の挨拶により、初対面同士の緊張感ある空間から和やかな空間へとあっという間に変わっていった。

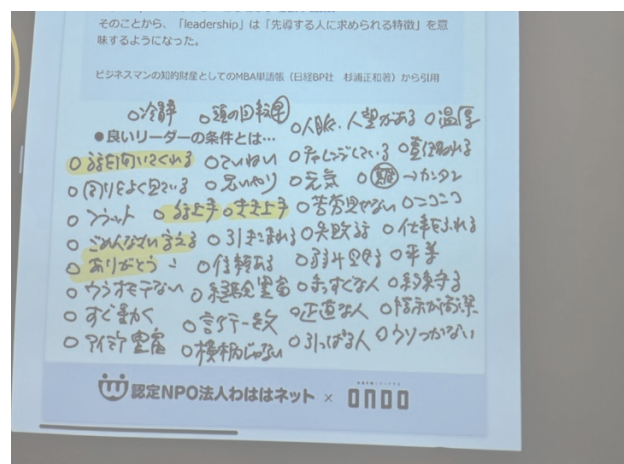
*参加者自己紹介

各グループでそれぞれ「ご所属・お名前・お仕事・参加への期待や不安・自分がリーダーかリーダーじゃないか」について8分間話し合った。その後、谷さんから「今回は8分間で1人2分間程度でしたが、いつも持ち時間を意識してそれに合った内容を話すことが大事ですね」と実践後に伝えられ、受講者の方々も何度も頷いていた。

*リーダーシップ

まずリーダーの語源“Lead”という言葉の意味について問われました。

その答えの「少し先を行くこと、そうすることで方向性が生まれ、チームを導くことができる」と谷さんの言葉「リーダーには必ずフォロワーがいる」は受講者の胸に響いていた。



一つ目の課題は「良いリーダーの条件」をグループで3分間で話し合い、20個以上挙げることができた2グループが代表で発表した。

良いリーダーになるには・・・日々の業務で最も意識し、悩みでもあるこの課題は、今回のセミナーで一番発言が飛び交っていたように思います。共通している条件が多く、他の受講者も相槌を打っていました。書き

出してみることで、自分では意識していなかったリーダー像を見つけることができた受講生もいたのではないと思われる。

発表後、そこで挙げられた条件と参考資料「リーダーシップの3つのスタイル」の表を見ながら、改めて自分はどのタイプだろうか、と振り返りが進んでいた。

*マネジメント

「人・物・金・情報」に続く5つ目の資源として、谷さんからは『知的財産』と『SocialCapital 社会関係性資本(助け合いや支え合い)』が提示され、それら資源を上手に活用するためにマネジメントしていくことが大切との話があった。「管理ではなく、…どうにかこうにか何とかしていく仕事」という言葉に安心もさせられました。谷さんは同じリーダーとして受講者に寄り添って下さっているようにも感じられた。



*チームの未来を考える、心理的安全性

最後のグループワークの課題は「心理的安全性を高めるために必要だと思うこと」を20分間各グループで話し合ってポスターを完成させ、その後ポスターセッションスタイルで発表を行いました。終始話し合いながら進めるグループや、個々で付箋に書き出してからまとめていくグループなど、話し合いの段階から違いが見られ非常に興味深かった。

自分以外のグループの発表を聞くことで様々な視点から気づきを得て、代表として発表をすることで、自分のチームが一番伝えたいこと補足したいことは何なのかを工夫しながら発表されていた。



*まとめ

今回のセミナーは講師の話を一方的に聞く講義形式ではなく、グループワークが中心となっており、全く飽きることはないあっという間の3時間のセミナーでした。また、受講者から「次回のセミナーが楽しみです」という声も頂けた。

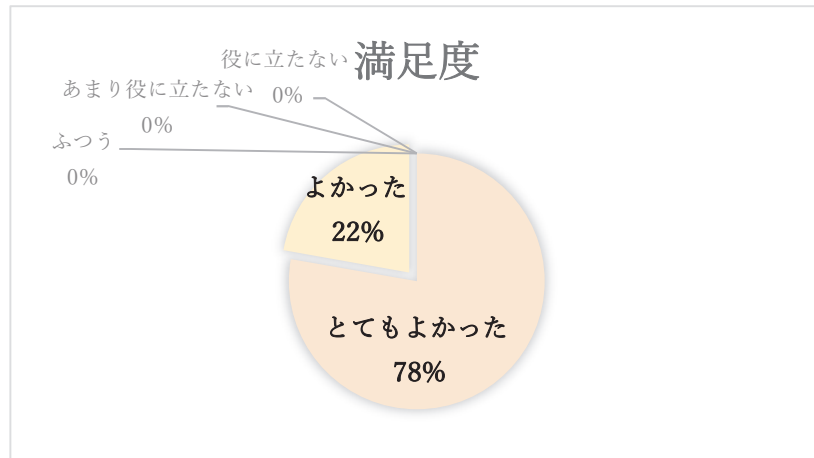
グループワークでは限りある時間の中で試行錯誤しながら意見を出し合い、発表することができていました。今回のセミナー内容から、残り5回のセミナーを受講して頂ければ、「自分らしいリーダーシップの醸成」と「多様なメンバー同士のネットワークづくり」が容易に達成されるように感じられた。

受講者の感想

- ・フォロワー1人目の重要性を知ることができた。
- ・自分に合ったリーダーシップのスタイルを探ることができた。
- ・「心理的安全性チェックリスト」で客観的に自分自身やチームを振り返ることが大事であると知ることができた。
- ・チームをより良く導くヒントや新たな視点を得ることができた。

令和6年度「女性が輝くリーダー養成セミナー」(第1回)

アンケート結果



■そう思った理由を3つ以上書いてください。(自由記述)一部抜粋

- ・リーダーには優れた人だけになる訳ではないことが分かった。
- ・フォロワー1人目の重要性が分かった。
- ・様々な業種の方と情報共有ができて刺激的でした。
- ・谷さんのお話はいつも笑いがあり、聞くだけのセミナーではなく、納得できました。
- ・チーム作りに悩んでいるところだったのでヒントが得られました。
- ・Social Capital を資源と考え、助け合い、支え合いの大切さを感じた。
- ・チームとしての目的を達成する為に何が必要かを考える機会がありとても参考になった。
- ・明日から実践できそうな具体案が出た。
- ・苦手だなと思っていたリーダーシップが楽しそう！と思えた。

■今日学んだことから、気づいたこと、感じたこと、今後の自分自身の決意などを記入ください。一部抜粋

- ・社会運動をどうやって起こすかの動画は印象的で、その後の谷先生の言葉がすんなりと入ってきた、リーダーに付いていくフォロワーになる2番目の人の重要性に気づけた。
- ・やはり人との関わり方や人間性が重要であると感じました。リーダーシップなど実績や難しいこと立派なことをやるというより身近なところで育んで、生成していけると思いました。
- ・谷先生ですら失敗をやらかすという言葉にすこし安心するとともに、常に定期的に自分自身を振り返り、言動・姿勢を見直す必要性があると感じました。手始めに、トイレに心理的安全性チェックリストのポスターを貼ろうと思います。
- ・必要な事と実際にできる事の差についてゆっくり考えたいと思った。
- ・普段の話し方やふるまいをリーダーとしてふさわしいものに変えていきたい。
- ・リーダーにはすぐにはなれないけれどフォロワー1人目になることを目標にしたい。
- ・リーダーと聞くと自分には無理、自信がないと思っていましたが、特別な人ではないとわかっただけで安心しました。自分にも少し自信が持てるような気がしました。

女性が輝くリーダー養成セミナー(第2回)

女性が輝く職場づくりのためのメンター育成セミナー(特別回) 実施報告

日 時： 8月22日(木)13:30~16:30

場 所： 讃岐おもちゃ美術館

参加者： 34名(リーダー:28名中1名欠席、任意参加のメンター:7名)

【テーマ】 チームビルディング「目標達成に向けてチーム力を高めよう」

【講師】 谷 益美さん(株式会社 ONDO 代表/コーチ・ファシリテーター)

■ 『前回からの振り返り』 —同じ所属(会社)の人たちに自分のチームのヒアリング—

前回の宿題であった、同じ所属(会社)の人たちに自分のチームをヒアリングした結果を持ち寄り、その共有からスタートした。その中で出てきた意見として「しっかり意見を言い合えていたと思っていたが違う事に気付かされた。」「資料を作りチームで共有した。リーダーになって1年、自分を知ることを意識して過ごしてみた。」「職場は書類を黙々と作ることが多くしんとしているので、自ら声を出すことから始めた。話しかけやすくする為に、時間に余裕があるかないかがすぐ分かるような顔(にっこり・普通・汗をかいている)が描かれたうちわを、それぞれの机に立ててみようかなと計画中です。」「心理的安全性が高い=仲良しごっこではないことに気付いたので、社内で話し合った。」など、受講生はもちろん、講師陣も興味深く聞き入っていた。2回目ですぐに本セミナーの効果が表れてきており、この事業の素晴らしさを肌で感じる事ができた。また、どの程度チームに共有できていて、どの程度行動に移せているかについては、個人差が大きいことも感じた。他の受講者の振り返りを聞くことで、今後好循環が生まれていくことを期待したい。



■ 『チームビルディング体感ミッション』 —赤エプロンを探せ!—

2回目のセミナーは、株式会社 ONDO のチームが主体となって、讃岐おもちゃ美術館を使った謎解き「赤エプロンを探せ!」を開催した。6人ずつのチームに分かれ、仲間たちと協力しながらミッションクリアを目指す。受講者はチームに貢献しようと、自分が得意なことやできることを各々考え行動していた。初めて組むチームにも関わらず、制限時間内にミッションをクリアするという同じ目標に向かって進むことで、自然とチームの距離は縮まり、自然と役割分担がなされ、どのチームも今日できたばかりのチームとは思えないほど、結束力のある個性あふれるチームが作られていた。



■ 『チームビルディングのプロセス』 —タックマンモデル—

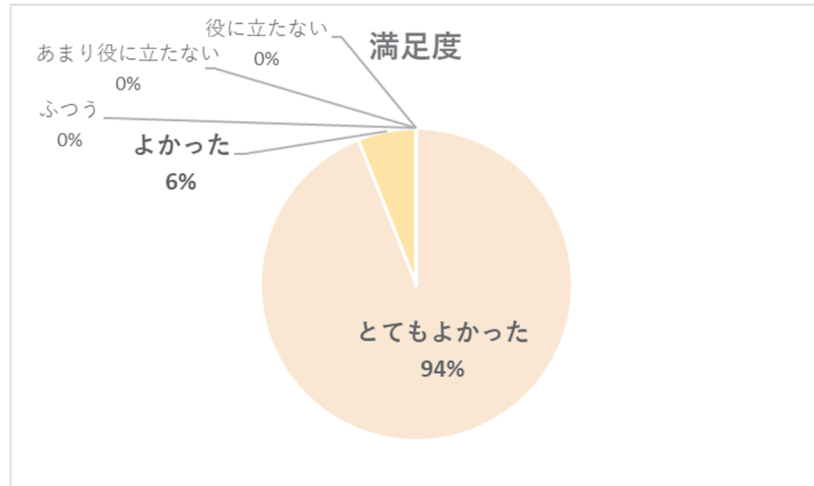
チームビルディング体感ミッションで活気付いた後、谷さんから BizHint 「チームビルディングとは」のタックマンモデルを使って「形成期・混乱期・統一期・機能期・散会期」について説明があった。その後、今日の学びと次回までのチャレンジについてグループワークで話し合った。また、次回までの実践として「チーム向上のアイデア出し」が宿題に出された。

まとめ

・同じ方向を向いてミッションクリアを体感したことで、チームビルディングのプロセスを、より良いチームを作っていくための一つのヒントとして学ぶ事ができた

令和6年度「女性が輝くリーダー養成セミナー」(第2回) アンケート集計結果

■今日の講座の満足度についてお答えください



■そう思った理由を3つ以上書いてください。(自由記述)一部抜粋

- ・他の人の前回学んだこと職場に持ち帰っての取り組みを聞けてとても刺激的だった
- ・自分の得意不得意が分かった
- ・意識したわけでもないのにチームワークを学びました
- ・グループで協力する大切さを改めて感じることができた
- ・改めて自分の動き方のパターンが見えたなと思いました
- ・初対面の方と心が通じた気がしました
- ・ONDOの方々のポジティブさにも引っぱっていく「力」を感じました、ポジティブでいる事の大切さを再認識できました
- ・「楽しい」と感じる心が目標に進んでいく大きな力になると感じました
- ・人を信じるのが楽しいと思った
- ・一緒にいる時間の長さとは関係なく、お互いが自然と会話し、協力できる事が分かりました
- ・できそうで、一人ではできない、少し難しい課題を一緒に取り組むことで「チーム」を感じる事ができた。
- ・課題が出るたびに一人一人が自分の今出来ることに取り組んでいく姿勢が感じられ、「チーム」はめんど
うな物ではなく楽しいものと感じられた
- ・チームごとの特色があることが分かった
- ・間違えたり、できなくても、誰も責めたりする人がいなくて安心して挑めた
- ・回を重ねていくうちに、リーダーとしての行動をどうすればいいのか、ヒントをもらえる

■今日学んだことから、気づいたこと、感じたこと、今後の自分自身の決意などを記入ください。一部抜粋

- ・声を出して協力をあおぐこと、落ちついて課題の求められていることをよく皆で確認すること、チームメンバーの特性から効率的にゴールに向かうやり方、今後の取り組みに活かしたいです
- ・達成感を味わうからこそ、「このチームでよかった」「楽しかった」という気持ちが湧くのだと思う
- ・高い目標より、一つずつ解決していくと達成感を感じながら進めていける
- ・今までお互いの得意な事や苦手な事を知らないまま仕事をしていたので、まず部署内の方とお互いについて話をしたいと思いました
- ・発言を迷う時もあったので、恐れずに発言してみようと思います
- ・思った事を口にして考えを伝え、共有することの大切さを改めて感じました
- ・目標と熱量が同じであれば時間はあまり関係ないのだなと感じました、これから組織を作るにあたり理念や目的をしっかりと意識していこうと思います
- ・一人一人の得意と苦手なことを言えて、助け合える関係の大切さを感じた
- ・人の悩んでいる言葉を聞いてそれがヒントになりました、仕事においてもそんなことがあるのかなと思いました
- ・煮つまったときには外側から見てみることの大切さに気付きました
- ・チームが一つになれば個々の力以上の力を出すことができるのではないかと思います
- ・協力できる場、その雰囲気を作り出し、全員を巻き込めれば達成に近づくことができると知った。モチベーションを皆で盛り上げて維持していけるように、今後意識して気持ちが集まるように動いていこうと思う
- ・今日のゲームでは改めてチームワークの大事さや発言の必要性も感じました。
- ・あきらめないこと、間違えてもポジティブに修正していくこと、誰かに頼ること、笑顔で運をつかむこと、そうしているつもりだけど、意識的に続けます
- ・9月入社の新入社員にトライしてみます

女性が輝くリーダー養成セミナー(第3回)実施報告

日 時： 10月16日(水)13:30~16:30

場 所： サンポートホール高松 61会議室

参加者： 25名(受講者:28 名中 3 名欠席)

【テーマ】 ゲストトークと課題解決①「アイデアとつながりの生み出し方」

【講 師】 谷 益美さん(株式会社 ONDO 代表/コーチ・ファシリテーター)

【ゲストスピーカー】 穴吹エンタープライズ株式会社 吉嶋 寛美 様
特定非営利活動法人わがこと 大美 光代 様

■ 『前回からの振り返り』 —チーム力向上のアイデア出し—

前回の宿題であった、職場等でチーム力を向上させる為に実践してみた結果を持ち寄り、その共有からスタートした。「社内でも、共通の目標・課題を明確にすることを意識した。資料もそこを意識して作ってみた。」「営業成績のような分かりやすい評価ができない業務の社員にもスポットライトを当てられる季節 MVP という制度を進めている。」「作った役割カードを引いて、ミーティングでの役割を決めてから話し合うようにした。」「基本の情報共有することを怠らずに、週に1回ミーティングを開くようにした。」「何にでも挑戦できるように歓迎するムードを意識している。」など、職場での創意工夫を聞くことができた。



アンケートの自由記述にもあったが、他の受講者の振り返りを聞くことで、実践できるアイデアを知り、次の活動につながる学びの機会、刺激になっている。より一層好循環していくことを期待したい。

■ 『ゲストトーク』

3回目のセミナーは、ゲストスピーカーをお呼びする回で、お二方が自己紹介と現在の活動を投影と共にスピーチして下さいました。講師の谷さんがファシリテーターとして、ゲストの人柄を上手く引き出して下さる姿がとても印象的だった。

ゲストスピーカーのスピーチ後、各チームからゲストスピーカーへそれぞれ質問を投げ、それに答えて頂くクロストークの時間が設けられました。



【質問の抜粋】

Q.社外でも合う人合わない人がいるかと思いますが、どのように対応していますか？

A.基本人と繋がることを目的にして参加していない、その場を楽しみながら自然と繋がっています。

(谷さん)参加する会で参加メンバーがどんな団体・企業で、どんなことに興味を持っているかを意識することとても大切ですよね。

Q. ライフステージが変化する中で、仕事に対するモチベーションの作り方は？

A.一番は子どもに背中を見られているという意識です。

社内でも自分の環境(シングルマザーであること等)を知ってもらい努力をし、日頃からアピールしておくことで周囲を巻き込み、働きやすい環境を作ることを意識しています。



Q.社内でも社外でもどのように人や仲間を集めていますか？

A. 空いている時間でいいから、得意な事やできる事を一緒にやろう、という気持ちです。また、「人って鏡だよ」の言葉から、できるだけ元気に振る舞うように意識しています。元気にしていれば相手も元気になって返してくれることが分かったのです。

(谷さん)

仲間になってくれそうな人の日頃の情報収集も大切になってきますよね。1回目のセミナーで紹介した動画で学んだように、フォロワーを対等に扱うことの大事さにつながりますね。

■ 『アイデアを広げる「発散のコツ」』—オズボーンのチェックリスト—

まず「アイデアとは、既存の要素の組み合わせ以外の何ものでもない。」という名言がインプットされた。アイデア出しのポイントとして、発散と収束の大切さを実践する際の注意点と共に学んだ。チームでアイデアを発散する際のコツとして、無理だろうと思われる量の付箋を配ることで、全員からアイデアを搾り取ることができる。絞り出した中に今までにない輝くアイデアが湧いて出てくることがある、とも話されていた。オズボーンのチェックリストも紹介された。

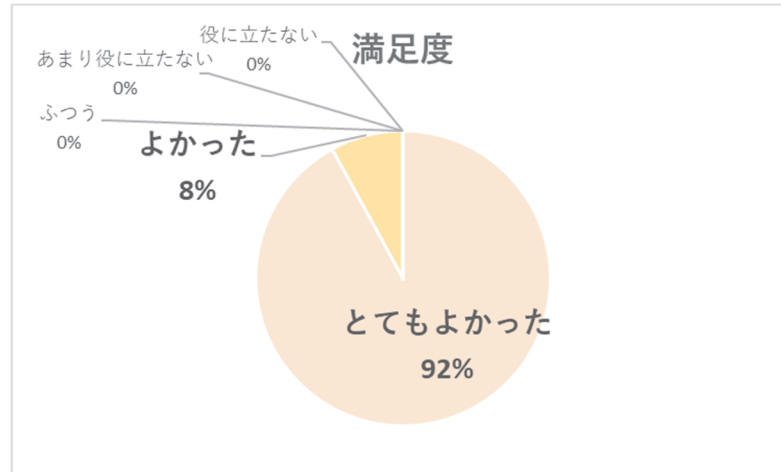
その後、今日の学びと次回までのチャレンジについてグループワークで話し合った。また、次回までの実践として「何か新しい領域のインプット」が宿題として出された。

＊まとめ＊

- ・「アイデアとは、既存の要素の新しい組み合わせ以外の何ものでもない」という言葉が背中を押してくれていた。
- ・情報収集のコツとして、自ら色々な場に行き、参加し、経験することだと学んだ。
- ・「壁だと思ったら扉だった」「人って鏡」という名言を頂いた。
- ・アイデア出しを行う際に、発散と収束を意識できるようになった。

令和6年度「女性が輝くリーダー養成セミナー」(第3回) アンケート集計結果

■今日の講座の満足度についてお答えください



■そう思った理由を3つ以上書いてください。(自由記述)一部抜粋

- ・アイデアはタネの掛け合わせ、色々な人との出会いも大切だと思った
- ・アイデアの出し惜しみをしない、言う、書くという事をするが良い
- ・発信が得意でなくても伝え方で周りを引き込めることが分かった。大きい声ではっきりと言うだけでも違うと気付けた。
- ・「壁だと思ったら扉だった」という言葉を知れた事、発想を変える事で次のフェーズに行く事ができると思えました。
- ・ゲストスピーカーのお二人の話は人柄も含めて参考となるが多かった。
- ・タネを作る、人に会う、情報収集をする、当たり前のことだけど気付けて良かった。
- ・吉嶋さん、大美さんから、話の進め方、受け答え等のあり方を学ぶことができた。
- ・「開くかも」と思えると壁でなくなる、その意識へつながりたい。
- ・子育て世代なので仕事と両立させながら働く姿を見せていただきありがとうございました。
- ・ついしてしまいがちな助言が新しい意見を拾いあげるきっかけをつぶしてしまっていること、発散と収束、まさに今のテーマでした。
- ・文章ではなく、実際に目の前で話される姿を目にすることで、話の熱量や感情を感じられたように思う。
- ・毎回チーム内で司会等回して下さるので、トレーニングにもなっています。

■今日学んだことから、気づいたこと、感じたこと、今後の自分自身の決意などを記入ください。(一部抜粋)

- ・谷さんの自分というキャラクターをどう見せていくか、という言葉が心に残った。
- ・新しいアイデアが出る環境づくりは難しくないかもと思った。今ある素材や材料を活かし新しいものを取り入れながら、見つけてくことを意識したい。
- ・話すことの苦手さを私も克服したいと思いました。傷つくことから逃げずに、課題として受け止められるようになりたい。
- ・自分を知ってもらう為の戦略、今まで何も考えずにだったものを、自分のネットワークを広げる為にも考

えてみたいと思った。

- ・まずは先陣を切って意見を言う！くだらないことも自由に発信できるムードを作れる人になりたい。
- ・「アイデアの出し方」「話し方」は徐々に身につくという言葉にハッとしました。
- ・録画か録音をしてみたい。自分を客観的に見て話し方を改善したい。
- ・自分が(アイデアの)素材を集められていないことに問題があり、意識的にいろんな所に行って体験したり、人に聞いたり、本を読んだり、知識を増やしていきたいと思いました。
- ・今の自分に足りないこと(対等な話し合い)が何かを気付くことができた。
- ・「人って鏡」という言葉を聞いて、口には出していなくても、しんどそうな姿だったり、無口になってしまっている自分を見直さなければと思うことのできた機会でした。

女性が輝くリーダー養成セミナー(第4回)実施報告

日 時： 11月27日(水)13:30～16:30

場 所： サンポートホール高松 54会議室

参加者： 26名(受講者:28 名中2名欠席)

【テーマ】 ゲストトークと課題解決②「発信力を高めよう」

【講 師】 谷 益美さん(株式会社 ONDO 代表/コーチ・ファシリテーター)

【ゲストスピーカー】 一般社団法人 パッククッキング協会ジャパン 池田奈央 様
株式会社つねや 杉田茉央 様

■ 『前回からの振り返り』—何か新しい領域のインプット—

これまでと同様に、宿題として出されていた「何か新しい領域のインプット」を実践した結果と感想を共有することから始まり、今回は前に出て発表することとなった。緊張と不安を隠せず会場全体がざわついたが、今後の為にも場数を踏むことの大切さ、そしてリアクションを取ってもらえる環境で行えることは非常に有難いという講師の言葉によって、受講者は納得した上で発表に挑むことができた。



そして、職場や所属するチームでの様々なチャレンジと、そこからの成長を聞くことができた。

アンケートの自由記述にもあったが、回を重ね、この場で同じ悩みを持つ仲間と共感し合ったり、アドバイスをし合えたりすることが、非常に意味のあることだと感じられた。

■ 『ゲストトーク』



4回目セミナーは3回目と同様、ゲストスピーカーが自己紹介と現在の活動を投影と共にスピーチして下さり、前回はアイデア出しにクローズアップしましたが、今回は発信がテーマとなった内容となった。

本セミナー受講修了者であり、今年から社内で人事戦略チームのリーダーを務める杉田さんと、昨年からパッククッキング協会ジャパンを立ち上げ、全国にその輪を広げる活動を行う池田さんのお二方の自己紹介は、ご自身の人となり、仕事への姿勢、人生観、全てが詰まっているように感じた。

ゲストのスピーチ後、各チームからゲストに質問を投げ、それに答えて頂くというクロストークの時間が設けられました。



【質問の抜粋】

Q.手を挙げてくれる人の見つけ方は？

(谷さん)例えば「リーダーをやりたい人はいますか」の質問だとwantになってしまい、全責任が乗っかる。
「やってもいい人はいますか」や、更に必要であれば「サポートがあるなら」を追加してみるといい。

Q.チームの中で聞き入れてもらえる為に気を付けていることはありますか？

(池田さん)良かったところをまず褒める。そして、訂正ではなく提案するようにしています。

(杉田さん)自分自身も姿勢を見せる。

Q.発信を受ける側に、違う風に捉えられたり、非難されることもあって怖くないですか？

(池田さん)発信する内容は発信する前に一度留めてから発信する。

(谷さん)発信とは、自分の中から外に何かを出すものだから、リスクを伴い不安で怖いもの。だからこそ、出すだけで価値がある。

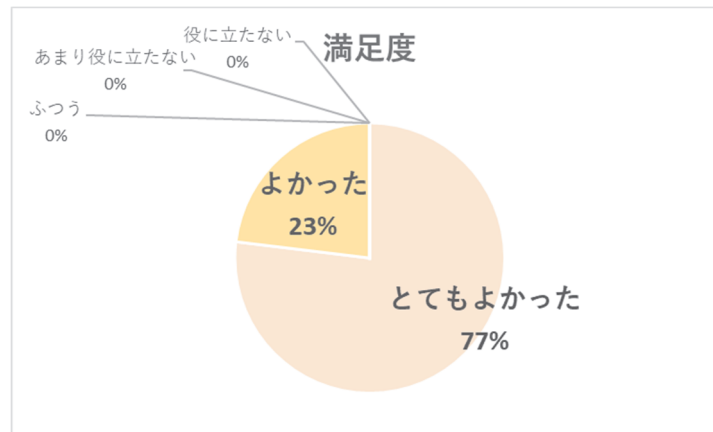
クロストーク後、今日の学びの振り返りと、次回までの実践「改善したいテーマ検討」についてグループワークで話し合った。

＊まとめ＊

- ・自己分析を深め、自分を個人として見てもらえるよう発信する。
- ・自分の弱みを見せ、課題に感じている事を発信することで、手を差し伸べてもらえ、上手くいくが増える。
- ・「とりあえず」やってみることが大事！
- ・活動後の報告は告知よりも大切で、継続することが大切。
- ・発信とは、自分の中から外に何かを出すものだから、リスクを伴い不安で怖いもの。
だからこそ、出すだけで価値がある！

令和6年度「女性が輝くリーダー養成セミナー」(第4回) アンケート集計結果

■今日の講座の満足度についてお答えください



■そう思った理由を3つ以上書いてください。(自由記述)一部抜粋

- ・なかなか発信できないもどかしさ→発信は怖いことでもある、出せるだけでもすごい！というのが心の支えになりそうです。いい作用が起きるといいなと、発信頑張ろうと思いました。
- ・人との違いを探し、発信！SNSに活かしたいです。
- ・広く「発信」というだけでなく「どう伝えるか」がテーマでよく理解できた。
- ・活躍している方も、初めは皆同じように感じている＝自分と同じと分かった。
- ・とりあえず断らず受けてみるという気づきがあった。
- ・とにかく経験(体験)から逃げない。
- ・「まずは褒める＋提案」という型で伝えるという伝え方が大変勉強になった。
- ・人をお願いすることへのハードルがこの講座を通じて下がってきた。具体的なお願いの仕方を学んだことも理由にあるが、同じ悩みを持つ人たちと共感し合ったりアドバイスをし合ったりしたことが大きい。
- ・弱みを出す、課題や困り事を発信することの大切さを痛感できた

■今日学んだことから、気づいたこと、感じたこと、今後の自分自身の決意などを記入ください。(一部抜粋)

- ・まずは自分のことを職場でも語れるように心がける。ついつい聞き手になることが多く、なかなか伝えられていないので自分を伝えることから始めてみる。
- ・色々考えすぎるので、いつかサラリと、思った時に発信できる自分を目指したいです。
- ・「発信力」大きなことではなく、自分の言葉で身近なところから自分の事を丁寧に伝えていくことから始めてみたいと思いました。
- ・頼る力、サポートしながらやりたいに繋がる経験を積み重ねていく、普段の仕事の中で取り組んでみたいと思います。
- ・発信のステップ、①自己分析(他社との差異化、埋もれる為)②発信の準備(熱く語れる準備、プレゼン資料)③発信(トライアンドエラー、録音)
- ・人との違いを探ること、自分を知ってもらうことで一個人と見てもらえるようになりたいと思う。
- ・確実に自分の知識となり、会社に役立っていると思う。次回このようなセミナーがあれば、社内の人に紹介したい。

女性が輝くリーダー養成セミナー(第5回)実施報告

日 時： 12月18日(水)13:30～16:30

場 所： サポートホール高松 54会議室

参加者： 26名(受講者:28 名中2名欠席)

【テーマ】 私たちのアクションプラン①「より良い〇〇づくりのために」

【講 師】 谷 益美さん(株式会社 ONDO 代表/コーチ・ファシリテーター)

■ 『前回からの振り返り』

これまでと同様に、前回の学びと次回までのチャレンジを共有することから始まった。前回に引き続き、前に出たの発表に加えてプレゼン時間を発表者自身が設定するというミッションも追加された。発表者はスクリーンに大きく映し出されたタイマーを背に、プレゼンを行った。

プレゼンが終わる毎に、講師から個々の発表の良い点やワンポイントアドバイスが伝えられ、プレゼンの仕方を学ぶことができる有意義な時間となった。



■ 『新規〇〇提案書』

第1回目のセミナーで各チームが作成した「心理的安全性を高めるために必要だと思うこと」の模造紙を見回りながら、「組織や世の中に対しての提案」を各個人で考え設定していくという課題が出された。

設定後、各チームで共有する際には、最終回のプレゼンの練習にもなることと、その提案がもたらすメリットと懸念点についても触れられるように発表する側も聞く側も意識して行うよう伝えられた。

グループワーク後には、提案する際に周りへの説得力を上げられるコツについて講師より話があった。

アンケートの自由記述にもあったが、様々な業種の方の提案、そこに至る背景を知ること、またざっくばらんな意見交換ができたことで、ここからまた前進していくことができるように感じた。



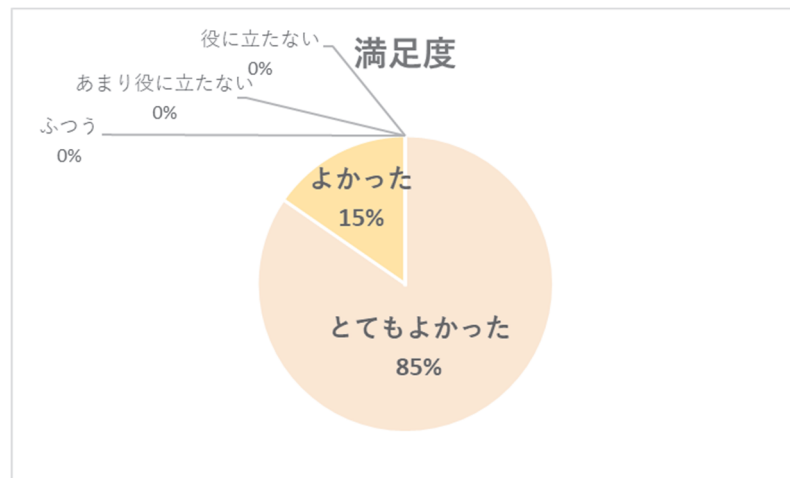
次回最終回のテーマは『私たちのアクションプラン②「私から始めるアクションプラン」』である。持ち寄ったP-PREP 法を使った3～5分程度のセルフプレゼンテーションで「私が目指すリーダー像」を発表し、全6回セミナーの総まとめの回となる。回を重ねる毎に受講者同士の関係は深くなり、臆することなく疑問質問を投げかけ、アドバイスすることができており、切磋琢磨するプラスの関係性になっていると感じている。

まとめ

- ・聞き手が「確かに！」と感じられる説得力を上げられるコツを知った
- ・プレゼンのコツをたくさん学び、プレゼン力が鍛えられた
- ・P-PREP 法を学んだ
- ・切磋琢磨する関係性になっている

令和6年度「女性が輝くリーダー養成セミナー」(第5回) アンケート集計結果

■今日の講座の満足度についてお答えください



■そう思った理由を3つ以上書いてください。(自由記述)一部抜粋

- ・最初の発表に、谷先生が具体的に個々の発表の良い点をコメントしてくれた点が良かった。
- ・相手・聞き手に共感してもらえる伝え方が大事。
- ・実際職場で提案してみよう!!と思える位、同テーブルの方からの一歩踏み込んだアドバイスもあり、有意義でした。
- ・次回に向けてやる気たかまってきた！
- ・誰かに伝えることの難しさは常々感じている中、谷さんの話し方がとても勉強になる。
- ・少人数でのざっくばらんな意見交換で、行政に対する不満等、率直な意見を聞くことができた。
- ・改めて自分ができていること、できていないこと、その見本となるべき人が側にいると感じた。
- ・新規の提案書を書けない頭の固さを自覚した。
- ・講師の方の話し方、身ぶり、手ぶりが勉強になった。

■今日学んだことから、気づいたこと、感じたこと、今後の自分自身の決意などを記入ください。一部抜粋

- ・何かを発信する時は、相手のメリット、相手にとって興味のあることを知ったうえで、話すことの大切さを強く感じた。
- ・「改善テーマ」で共通していたのはコミュニケーションの大切さを感じました。異業種の方の問題点からの改善案が聞けて、自分の中の改善テーマの参考になりました。
- ・本当に提案に踏み切ってみよう!!と思います。と共にプレゼンも充実したものにしてみたいです。
- ・私の発言には、相手の立場を考えているようで、自分の言いたいことを伝えているのかもしれないと気づきました。今後は、変えます!!
- ・提案したいテーマを自分の視点だけでなく皆さんからご意見をいただけたのが良かったです。
- ・B君のメールの例非常にわかりやすい「こんなメールしないよ！」と皆で笑っていたが、ふだんの口での会話ではやりがち…と聞いてハツとした。
- ・色んな業種の方がたくさんいらっやって、色んなお話ができてコミュニケーションの場にもなり、お話す事、進行する事が少しずつ慣れてきている様に感じます。
- ・若い人の気持ちや考え方を理解する機会を持ちたい。

女性が輝くリーダー養成セミナー(第6回)実施報告

日 時 : 1月 21 日(火)13:30~16:30

場 所 : 香川県庁 新館 第1・2会議室

参加者 : 26名(受講者:28 名中2名欠席)

【テーマ】 Final! 「私から始めるアクションプラン」

【講 師】 谷 益美さん(株式会社 ONDO 代表/コーチ・ファシリテーター)

■ 『前回からの振り返り』

本セミナー恒例の『前回からの振り返り』では、前回の学びと新たにチャレンジしたことを共有した。前回も好評であった講師からのフィードバックは、緊張しながら発表したプレゼンターにとって嬉しいご褒美となっていたように思う。

「〇〇さんから紹介された」「〇〇さんが参加していた」など固有名詞を出したり、話のポイントの数を先に提示するとこちらに耳を傾けてもらいやすくなる等、実践しやすいワンポイントアドバイスが伝えられ、受講者の満足度を上げていた。



■ 『私が目指すリーダー像』

チーム内でのプレゼンでは、聞く側はプレゼンの良かった点、もう少し工夫ができそうな点などを意識して聞くことができていた。毎回メンバーが変わるチームの中でコミュニケーション力が鍛えられ、回を重ねる毎によりスムーズに、しっかりとコミュニケーションを取ることができていた。



その後、チームの代表決めとブラッシュアップの時間が取られた。じゃんけんやクジではなくチームで

和気あいあいと相談しながら代表者を決定していた。そして、代表者含めチーム全員で工夫できる点を探り、ブラッシュアップを図っていった。

アンケートの自由記述にもあったが、様々な業種の方が参加する中で、このセミナーを通してコミュニケーション力を高めながら、積極的な意見交換がなされてきた。そのおかげで、色々な方向性のリーダー像が受講者達の中に生まれ、日々の業務の中で洗練され、このプレゼンに至っているようだった。



■ 『修了証書授与式』

全6回セミナーの最終回を終え、池田知事から激励のお言葉をいただき、受講者一人一人に修了証書が直接授与された。

この笑顔あふれる集合写真が、本セミナーをきっかけに新たなリーダー像を持って再出発できたことの記念となった。香川県の女性達が、これからの新たな輝かしい未来を作っていくくれるのだろう、と感じた。

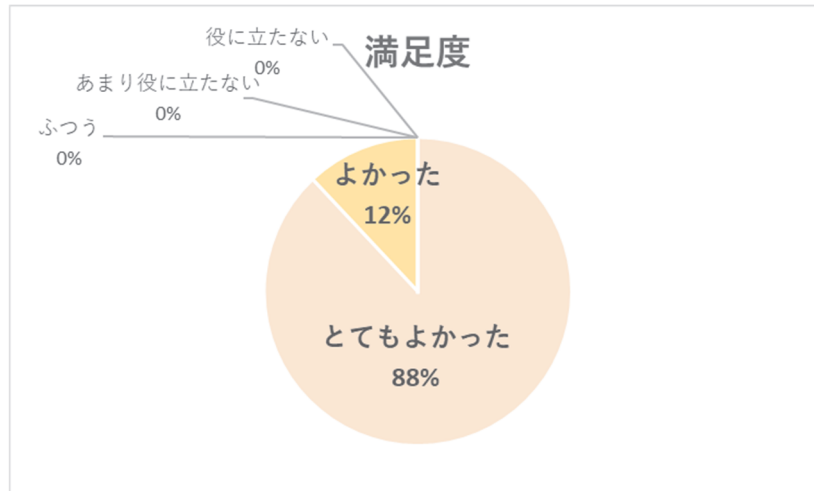


まとめ

- ・ 本セミナーを通して、新たに素晴らしい世界を知り、素敵な仲間に出会えた。
- ・ 勇気を出して踏み出し、何事にも主体性を持って取り組めるようになった。
- ・ 香川県知事から激励の言葉と修了証書が授与された。
- ・ それぞれが導き出した「新たなリーダー像」に向かって動き始めることができた。

令和6年度「女性が輝くリーダー養成セミナー」(第6回) アンケート集計結果

■今日の講座の満足度についてお答えください



■そう思った理由を3つ以上書いてください。(自由記述、一部抜粋)

- ・ 人の意見を聞くことで、自分の凝り固まった考え方に気づくことができた。
- ・ 「名セッターになりたい」「寄り添えるリーダー」「必要な摩擦を成長に変えるリーダー」いろいろな方向性のリーダー像がそれぞれの中にあるのも、このセミナーを通して形になり気づきになった貴重な経験があったからだと思います。
- ・ もっと人前で話してみたいぐらいです！これを糧に会社でも臆することなく前に出ていきます！
- ・ 今後もこのような場が開催されるとよい、この関係を継続していきたい想いが一緒である共有が出来てよかった。
- ・ 知事から修了証書をいただけた。
- ・ 知事の横で写真が撮れた。
- ・ 来月が無いのがさみしいと思ってしまった。
- ・ 特別な能力がある人だけでなく、いろんなタイプのリーダーがいていいことに気づき、自分も何か一歩前に踏み出せる勇気をもらい、自分の考えを言語化し、周りの人との関わりを大事にしていこうと思えるようになったことが良かったです。
- ・ 異業種のかたからたくさん刺激を受け、前向きになれました。
- ・ プレゼン発表の役割をいただいて皆さんにブラッシュアップしてもらえた。
- ・ リーダーとしてこれからも頑張るぞ！良い仕事をしたい！というモチベーションが上がりました。
- ・ 様々なマネジメントのコツや情報を知ることができて、回を追うごとに視野が広がりました。
- ・ 女性のリーダー職の方々とお話してつながれて、仲間意識が芽生えました。心強いです。
- ・ できることがあると気付かされるところがあった。
- ・ 毎回新しいメンバーとチームを組めるので、意見が新鮮。
- ・ リーダーとなると責任を負うのが不安、人前で話すのが得意でない等、皆さんの正直な気持ちが聞けて、自分だけでないと安心できた。
- ・ 人前で話すことは緊張するが、同じグループの皆さんがやさしい目であたたく聞いてくれたこと

■今日学んだことから、気づいたこと、感じたこと、今後の自分自身の決意などを記入ください。

(一部抜粋)

- ・ 女性は仕事だけでなく家族・子供のことをする責任がある中、男性と同じパフォーマンスを求められるのはとても苦しく感じるが多い。そんな中、このような会で一人じゃないと思えて、今後生きる力をもらった。
- ・ ポジティブな声掛けができるのはやっぱりよいなあと思ったので、意識していきます。
- ・ 毎回来るときは勇気がいるけれど、来たら楽しい時間であつという間でした。
- ・ 自分の目指すリーダー像に向け学んだ事を実践していきます。
- ・ 主体性を持って何事にも取り組みたいと思います!!
- ・ 勇気を出して踏み出す!!新しい世界をどんどん知っていきたいです。
- ・ プレゼンで話した自分の想いを明日から行動につなげて実行していきたいです。
- ・ 自分の可能性は無限大!飛び込むか飛び込まないか、勇気があるかないか。ほんの少しの差で人生は大きく変わるのではないか、そんなことを感じた45歳の冬でした。学びをありがとうございました!!
- ・ 質問力を高めたい。
- ・ 谷先生のセミナーをまた受けたいです。
- ・ こういった機会には積極的に参加したい。
- ・ 多くの方にこういった研修を紹介していきたい。
- ・ 来年はぜひもう一方のメンター講座を受講したいです。
- ・ 学んだことを日々の業務や思考にしっかり落とし込んで自分のものするまでまだ時間がかかりそうですが、メモやテキストを見返しながらいきたいです。
- ・ この研修の目標である社員登用が叶ったので、今後はリーダーになれるよう役職を目指していきたい。
- ・ 皆さんいろいろな業種でそれぞれ頑張っておられるので私も努力を続けていきたいです。